

## 助成活動実績報告書

企画名	『ワイルドライフ ウォッチング』
団体名	岡山野生生物調査会

### ①活動の目的について

岡山の自然・野生生物に興味を持つ人と、地元住民が、共にフィールドワーク（野外調査）を体験したり、いろいろな経験や知識を持つ専門家とが協働で活動をしたりとすることで、身近な自然のすばらしさや地域の人々の豊かな経験と文化等（たからもの）を共感・共有することを本事業の目的とした。

### ②内容について（学習会、集会などは開催日や内容、参加者数など。設備・物品購入などの発注、納品、竣工、支払いなどの案件に関わる事実の掲載）

#### 《調査・観察会》

1月野鳥観察；足守川～黒谷ダム（冬鳥の観察）、3月15日「春をさがそう」（御津・大野）、「セツブソウ観察」（御津・天満他）

・吉備高原の各観察地点において実施する。開花の時期や様子が異なることが分かる。

5月ボタル幼虫の上陸観察；昨年の観察地で「まちなかホタル」を観察（市内の用水）

6月5日「ヒメボタル観察」（グリーンシャワー公園）、6日「ウミホタル調査」（倉敷・大浜海岸）、7日・14日「ゲンジボタル観察会」（岡山・大野、同・庄田、美咲・江与味）

・ゲンジホタルの幼虫の上陸の様子を観察している地域は、地域の方の関心も高まっていた。

7月21日「大野川調査」（御津・大野）

・地元の方、大学生高校生も多く参加した。10月26日の「宇甘川大野川生き物調査」に繋がった調査の会であった。

9月7日「オオシロカゲロウ観察会」、9日～21日「大発生に関する調査」；旭川下流域から上流域までの“大発生”について現地での調査

・地元の方にインタビューをして、例年の発生の様子を聞く。

11月24日「ヤマトビイロトビケラ観察会」（牟佐・大久保で観察コースにマレーゼトラップを設置）

・当日は、観察コースを講師の方を含め7名約1時間で行った（通常の観察は約25分で行う）。約150体の成虫（内メス成虫は17体、マレーゼトラップを設置した辺りでは7体）を確認した。

12月18日「児島湾ゴカイ調査」（調査用船舶で児島湾3か所で確認する）

・次回は3月上旬（満月、大潮）の夜に予定している。

等々を順次実施した。

また、それぞれの活動とその様子について、携帯電話のホームページに掲載した。

### ③この活動によって達成された成果

2月3月の「春の山野草の観察会」はこれまでの継続した観察により、冬の天候により開花の時期が少し前後したり、開花の多い場所が変わったりしていることもわかった。また、御津・K地区（セツブンソウ群生地）やT地区（カタクリ群生地）では、地域の方が年間を通して環境の保全に配慮されて、観察に訪れる人も多くなっている。

9月の「オオシロカゲロウの大発生」は、これまで旭川全体でどのように“大発生”しているのか、確実なデータがなかった。そこで、旭川大橋から上流域にかけて18か所で調査をした。その結果、大きな堰（せき）とその区域では下流域から発生し、（全体では）時間（大発生の日）を縦軸にしたグラフでは階段状になり、短期間に大発生をしていることが分かった。しかし、一部地域では、大発生の日が早かったり、二度の大発生があったりしたところもあった。

11月の「ヤマトビイロトビケラ」の観察会（牟佐・大久保）では、予想した場所（トラップを設置した場所）で、雌の成虫が多く発見できた。しかし、雌の成虫は飛べないことから個体の移動と交尾・産卵場所について、さらに疑問が深まってきた。これまでは、小石の下面や岩の地表面に近いところで卵塊を見つけることができたが、その場所ではまだ見つけることができていない。（別の地点で）コケを食べていることは確認できたが、共通したものを食べていることは考えにくい。等まだたくさんの疑問が残る。

また、同時期（11日、12日）、これまで成虫が生息しているところとは別の場所で別の個体を採集した。例えば、吉備高原全体に生息している可能性があり、どのようなところで何を食べているのかを確認していく必要があると思われる。

### ④今後の計画・展望について

水生昆虫の種を決め、生息地点の環境や生態を調べることを続けていくことが必要である。例、ナカハラシマトビケラ、チラカゲロウ、オオシロカゲロウ、コバントビケラ、ヤマトビイロコビケラ等。これまで、旭川流域の生き物調査を多く実践してきたが、データの整理が十分ではない。

旭川の上流域・中流域・下流域の特色をはっきりさせるとともに、旭川、吉井川、足守川・笹が瀬川（等旭川水系）が集まっている児島湾の実態を、水質や、生息する生物の実態（生態）を観察や調査から明確にしていきたい。

地域の方に聞き、地域の皆さんに参加を募り、専門家（大学生や研究者、これまで研究してこられた方等）の多くの分野や方面からの協力を得て、活動を進めていきたい。

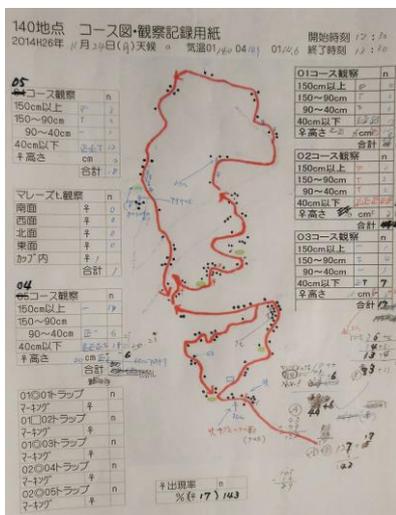
⑤写真等参考資料添付



オオシロカゲロウの大発生（9月中旬）



同 橋の歩道の様子（旭川上流域 同月中旬）



ヤマトビイロトビケラの観察記録（11月24日）



同（成虫♀）



トラップの中（成虫♂）



見島湾ゴカイ夜間観察（12月18日）



↑ゴカイと二枚貝→

